

# 現代民俗学会第5回運営委員会 議事録

日時：2009年1月31日 12:10～16:20

場所：筑波大学人文社会学系棟 B113

出席：石本・及川・大里・岡田・菅・塚原・徳丸・中里・林・古家・松岡・渡部

## 1. 会計報告の件

石本委員より、第4回委員会以降の新入会員はなく1月30日現在の会員数は102名であることが報告された。また第4回委員会後の収支および今後5年間の収入・支出の試算が報告された。

## 2. 大会・研究会の件

### (1) 大会の会場変更

武蔵大学の会場がキャンセルとなったのをうけ、研究会担当により新たに会場が確保済みであることが報告された。

### (2) 大会の内容と告知

研究会担当より、招待講演者として Dorothy Noyes 氏の許諾を得ており、今後講演内容を協議していくことが報告された。年次大会のサーキュラーについては、3回程度に分けて行うこと、2月中には第1回サーキュラーを発行することで合意した。

## 3. 創刊号の編集の件

### (1) タイトル

編集担当（渡部委員）より、会員からのタイトル案が報告された。さらに編集担当からの提案をふまえて決をとり、会誌名は『現代民俗学研究（The Journal of Living Folklore）』と決定した。

### (2) 雑誌の仕様

雑誌の仕様については、B5判で1頁に約4枚（原稿用紙換算）を納める体裁とすることが報告された。引き続き協議があり、B5判横書き・1段組とする方針で合意した。

(3) 誌面構成

上記の版型をふまえて、渡部委員より誌面構成と予定ページ数について、①寄稿、②研究会記録、③学会通信および学会設立までの記録、④予備研究会とし、計 100 ページ以内に収めることが提案された。

(4) 外国文要旨

外国文要旨の掲載方針について意見が交わされ、創刊号に関しては 200words 程度の英文要旨を掲載することで合意した。

(5) 編集作業方針について

基本的に版組みも委員側で行う方針となった。渡部委員より、これらの作業について事務局からサポートを得たいむね提案があり、承認された。

## 5. 職掌見直しの件

(1) 庶務の設置

塚原委員より、新たに委員会内に職掌として「庶務」を設けたいむね提案があり、メンバー案として古家・渡部・塚原・岡田の各委員が挙げられ、承認された。今後、委員会の日程調整、議事録の作成、議事の管理などを庶務で行うこととなった。

(2) 事務局の分担

引き続き塚原委員より院生委員の分担について、来年度にむけての新メンバー、および想定される分担（メール・郵便物管理、名簿管理、サイト管理、委員会業務の補助）が提案された。これらを早急に分担して委員会にメール報告することとなった。

なお院生委員の実働メンバーを今後正式に「事務局」と位置づける方針について提案があり、承認された。さらに 2009 年大会の準備グループについて、院生委員の担当者を早急を選び、委員会に報告する方針となった。

(3) 会則改正・選挙規程の件

2010 年度の新役員の選出にむけて、2009 年総会で選挙規程を承認しておく必要があることを確認した。

## 6. その他

(1) 会長代行の設置

宮本会長の逝去にともなう緊急の議事として「会長代行」の設置が発議され、古家委員が推され、承認された。

(2) ホームページの更新

事務局が新規に作成中のコンテンツに早急にあらためるべきことで合意した。なお宮本会長の「しのぶ会」の告知を掲載する方針とした。

（3）次回委員会の日程

次回第6回運営委員会は東京大学東洋文化研究所にて、3月28日（土）に開催する。

以上